

<新人看護師 年間研修>

日程	研修名・テーマ	研修目的
4月	看護記録	看護記録基準に基づいて、正確に実施した看護を記録することができる
	ハイリスク薬	院内ルールに基づいて、安全にハイリスク薬を取り扱うことができる
	経口与薬	院内ルールに基づいて、安全に内服薬を与薬することができる
	インスリン製剤について	インスリンの種類と特徴を理解し、安全にインスリンを投与することができる
	血糖測定・インスリン投与	正確な血糖測定と安全なインスリン投与のために必要な知識・技術を習得し、院内ルールに基づいて安全にインスリンを投与することができる
	口腔ケア・食事介助	嚥下障害・認知症のある患者に安全で安楽な食事介助・口腔ケアを行うことができる
	転倒転落、身体抑制について	院内ルールに基づいて、患者の状態を踏まえ、転倒転落防止および身体抑制を最小限にするための対策を実施することができる
	採血	採血に必要な知識・技術を習得し、手順に沿って安全に採血を行うことができる
	輸液管理	輸液の投与に必要な知識・技術を習得し、院内ルールに基づいて、輸液を投与することができる
	1か月フォローアップ	社会人としての自身の状態をセルフチェックし、心身の状態を整えながら新たな生活に適応できる
5月	点滴静脈内注射の血管確保	静脈留置に必要な知識・技術を習得し、手順に沿って安全に静脈留置を行うことができる
	輸液・シリンジポンプ	輸液・シリンジポンプの特徴を理解し、院内ルールに基づいて、安全に輸液・シリンジポンプを使用し薬剤投与ができる
	導尿	導尿に必要な知識・技術を習得し、手順に沿って、安全に導尿を実施することができる
	膀胱留置カテーテル	膀胱留置カテーテルに必要な知識・技術を習得し、手順に沿って、安全に膀胱留置カテーテルの留置を実施することができる
	経管栄養	経管栄養に必要な知識・技術を習得し、手順に沿って、安全に経管栄養を投与することができる
	2ヶ月フォローアップ	実践場面を振り返り、周囲との関係性や関わり方に気づき、円滑なコミュニケーション行動を実践できる

日程	研修名・テーマ	研修目的
6月	アクティブリスニング	コミュニケーション技法であるアクティブリスニングについて学び、円滑な人間関係を構築する能力を養う
	心電図（基礎編）	心電図の基本を学び、危険な波形を見つけられるようになり、適切な初期対応を学ぶことができる
	「優先順位」シミュレーション	複数の患者の事例に基づいて、患者の状態の変化に気づき実践する看護の優先順位を判断することができる
	3ヶ月フォローアップ	自身の悩みや不安を含めた経験を振り返り、課題に気づき、今後の具体的な行動を考えることができる
8月	急変前の「気づき」	急変前の変化の兆候を気づき、急変時の対応について説明することができる
	医療安全Ⅲ	インシデント事例を通し、院内ルールに基づいた事故防止対策を実践することができる
	看護倫理Ⅰ	日常場面で倫理的問題に気づき、患者の立場に立って、行動もしくは相談することができる
10月	ストレスコントロール支援	ストレスを軽減することができる
	6ヶ月フォローアップ	これまでの看護実践を振り返り、自身の強みと課題を客観的に捉え、後半の成長につながる学習や行動の方向性を明確にする。 クリニカルラダー新人の取得に向けてのオリエンテーション（申請時自己評価、認定までの流れについて、受審申請書・計画書について）
	ポジショニング	患者の安楽な状態を保持し褥瘡、拘縮や変形を予防する工夫や方法を実施することができる
	感染管理Ⅱ	感染対策マニュアルに基づいて、状況に応じた感染対策を選択することができる
	地域連携と入退院支援	地域包括ケアにおける入退院支援の重要性、当院における入退院支援の在り方を知り、部署における入退院支援を実践することができる
12月	9か月フォローアップ	日々の看護実践を自身の看護観に基づいて振り返り、自身の看護のあり方を考えることができる 「看護を語ろう」のオリエンテーション
3月	看護を語ろう	一つの事例を基に看護実践を振り返り、自己の課題を発表することができる
2月～3月	クリニカルラダー新人受審	自己の目標達成状況がわかり、課題を整理し、2年目に向けた心構えを学び、自己目標が設定できる

<新卒2年目 年間研修>

クリニカルラダーⅠを取得し、今後クリニカルラダーⅡを目指す看護師研修

日程	研修名	研修目的
6月	ケースレポートについて	ケースレポートの目的と構成を理解し、自らの看護実践を振り返り、文献を活用して根拠を整理する視点を身につけることができる
	フィジカルアセスメントⅠ（強化編）	臨床推論に基づき、意図的・系統的に患者情報を収集し、所見を関連づけて病態を推測するとともに、そのアセスメントを整理し、適切に他者へ伝達できる
8月	ポジショニング	患者の安楽な状態を保持し褥瘡、拘縮や変形を予防する工夫や方法を実施することができる
9月	救急シミュレーション	急変場面を想定したシミュレーションを通して、状況判断、情報共有、役割分担を行いながら、チームで迅速かつ適切に対応する力を身につけることができる
1月	ケースレポート発表会	自らの看護実践を振り返り、文献を活用して根拠を整理することで、看護実践を言語化し、他者と共有できる力を高めることができる

<新卒3年目 年間研修>

クリニカルラダーⅡを受審するための必須研修

日程	研修名	研修目的
7月	フィジカルアセスメントⅡ	病態を踏まえたアセスメントから急変の兆候を予測し、必要な物品準備と初期対応を先を見越した行動を考える事ができる。また、ISBARで報告し、状況に応じてチームへ指示を出すリーダーとしての必要な行動目標を立てることができる
	リーダーシップ研修①	サーバントリーダーシップの定義と10の特性を学び、とくに『人々の成長への関与』に着目し、ARCSモデルを用いて自分自身のリーダーとしての在り方を見つめ直し、人を支える力を実践できる行動計画を立案し、説明することができる
8月～9月	ICU研修	重症患者の変化に早く気づき、急変を予測して必要な対応を判断できる力を身につけ、日々の看護に活かせるようになる
10月	リーダーシップ研修②	これまでの自分の“人を支える力”の行動を振り返り、行動計画を修正し学びを深めていくことができる
12月	看護記録	「患者の状態変化を的確に捉え、その時の判断や根拠をわかりやすく記録にまとめる力を身につける。また、チームが共有しやすい情報として整理し、リーダー業務や後輩指導にも活かせる記録ができる
	看護倫理Ⅱ	「倫理的に迷う場面で状況を整理し、患者の尊厳を守るために適切な判断と行動を選び、後輩やチームにもその視点を伝えられる
2月	リーダーシップ研修③	自分が目指した“人の成長を支えるリーダー像”についての取り組みの振り返りや課題について言語化することができる

クリニカルラダーⅢを受審するための必須研修

日程	研修名	研修目的
8月	緊急を要する不整脈	緊急を要する不整脈の特徴と危険性を理解し、患者の状態変化から早期に異常を察知して必要な対応を判断できるようになる。また、周囲と連携しながら迅速な対応につなげる力を身につける
10月	フィジカルアセスメントⅢ	「状況（場）の特定を踏まえた看護を実践する」ためのフィジカルアセスメントを学び、患者の特性・個性を踏まえた情報を収集し、判断できる
11月	チーム力向上研修	リーダーとして安全な場を作り出すスキルを獲得し、チームの機能向上に寄与する能力を養う